

隊友千葉だより

平成25年9月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

【事務所 開所時間】
原則として月・水・金 1000～1500
(月・水：土屋 金：内田)

退職予定隊員に入会説明

事務局は千葉地方協力本部の協力を得て、在業隊員部において近々定年退職を予定する隊員に対し、隊友会紹介に併せて入会勧誘を行っている。千葉地本が行う定年退職予定隊員集合教育は、下志津駐屯地において概ね各期1回、年4回行われており、毎回、理事役が入会勧誘を行っている。



今回は7月19日(金)、18名の退職予定隊員に隊友会の意義・目的、組織、具体的活動内容及び入会要領を説明し、退職時、是非隊友会に入会してもらうようお願いした。

船橋支部総会を開催

船橋支部(森 良雄支部長)は8月31日(土)11時から習志野駐屯地内において正会員34名が参加して支部総会を開催した。物故者に黙祷を捧げた後、森支部長挨拶、富田県会長祝辞に続き24事業・決算報告及び25事業計画等を審議し、案のとおり承認した。

その後、特別会員である野田佳彦前内閣総理大臣(代理 秘書佐藤彰一氏)、千葉県議会議員 斉藤 守氏、第1空挺団副団長 山口耕司1陸佐及び世話係の空挺団広報 今野1曹を来賓に迎える春の叙勲祝賀兼ねて親睦会を実施し、叙勲受章者2名のお祝いをするともに近況を語り合い、盛会のうちに終了した。

各駐屯地・基地夏祭り

7月下旬から8月上旬にかけて、木更津(空)、習志野、下志津及び松戸において恒例の夏祭り(盆踊り大会)が開催され、多数の市民が訪れ、賑わった。特別会員の方々も多数参加され、現役隊員と杯を合わせ夏の一夜を楽しんだ。



下志津 花火
高射学校HPから転載

松戸 踊り

現役・市民の方々と楽しむ

海賊対処部隊体験者講演会 好評のうちに終了

8月17日(土)14時から京葉文化プラザにおいて開催。元ベルシヤ湾掃海派遣部隊指揮官 落合氏の導入に続き、飯塚1海佐(下志津教育航空群)、水間1海佐(情報本部)、小川3海佐・吉野2等海曹(第21航空群)、齋藤3空佐(航空支援集団司令部)及び久保田3陸佐・倉野2等陸曹(第1空挺団)がソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動における自らの勤務体験をユーモアを交えつつ分かり易く講演し、約700名の聴衆から大なる拍手を浴びた。終わりに統幕副長 磯部陸将(現在、東部方面総監)から本講演会の総括と当面する自衛隊の課題について説明があった。また、臼井元防衛庁長官から講演者に感謝状が渡された。県隊友会からは藤尾・山田顧問を始め支部長、会員多数が聴講した。



説明する吉野2海曹

前期支部長等会議終了

7月24日(水)14時から千葉市民会館において会長以下、支部長等及び県理事役計49名が参加。会議では平成25年度隊友会定時総会結果の伝達などを行い、隊友会施策の周知徹底を図るとともに今後の県の活動予定の連絡を行った。会議終了後、市民会館近傍居酒屋に集合、懇親会を行った。特別会員の佐藤まさひさ・宇都たかし両参議院議員も飛び入り参加され、支部長・理事役と膝を交えて歓談、大いに盛り上がった。



富田会長挨拶



「隊友会」の主要施策

- ◆合衆国軍隊事故被害者救済融資事業の担任
米軍人が公務外で起こした事件・事故による被害者等に対し、米政府から補償金が支払われるまでの間、当面必要とされる医療費等を損害額を限度に無利子で融資する事業を今後、隊友会が担任。
- ◆自衛隊体育振興互助基金への協力
本基金の目的は「自衛隊における体育の振興に協力すること」であり、かつ選手に対する援助は公務で出場する場合に限定されていることから、隊友会定款第3条(目的)及び同定款第4条(事業)に照らし、隊友会として本事業に協力することは問題ないとし、協力を決定。
- ◆収益事業等の現状と今後
現状は低調。今後は隊友会関連生産品(隊友ブランド)の販売事業、自販機設置先紹介等の情報提供事業を重視して実施。
- ◆会勢の拡大に関する施策
今後、隊友紙に「賛助会員コーナー」(仮称)を新設、また退職予定者に対する入会説明・勧誘等を強化していく。
- ◆隊友会総会における「代議員制度」の検討
各県隊友会長からの意見聴取結果を踏まえ導入しないことを決定。
- ◆会費制度の検討
正会員の会費制度を検討して各県隊友会のニーズに努めて適合する会費制度に改正する。当面各県隊友会・支部にアンケートを実施。26年度に本部案の提示と各県の意見聴取、27年度の総会に本部案を諮る。
- ◆隊友会DB(データベース)の整備
各県隊友会の保有する形式の異なる名簿等を隊友会本部で統一した形式に変換し、整備。

事務局からの連絡事項

◆県隊友会部隊研修について
今年度は航空自衛隊航空警戒管制部隊の現状及び役割等について理解を深めることを目的に空自第44警戒隊(峯岡山分屯基地)を研修。実施時期は12月3日(火)。参加者数は約50名を予定。移動は習志野駐屯地及び蘇我駅付近発の大形バス(空挺団支援)、安房鴨川駅及び分屯基地近傍駐車場発のバス(44警戒隊支援)利用。

◆靖国カレンダラーの紹介(依頼)
「英霊にこたえる会」から靖国カレンダラーの頒布協力の依頼があり、公益社団法人として戦没者の慰霊顕彰に寄与できるものと思料し、紹介。カレンダラーは靖国神社の四季折々の風景及び戦功著しい英霊の紹介記事等を印刷した6枚綴り(2か月1葉)で、頒布価格は1部500円。購入を希望される方は支部長を通じ、又は個人で11月28日までに県事務局に申し込み。

◆第40回中央防衛セミナーについて
隊友紙・隊友会ホームページにも掲載。多数の会員の聴講をお願いします。時期は平成25年10月4日(金)13時15分～16時45分 場所は損害保険ジャパン本社ビル2階大講堂(新宿区西新宿1-26-1) 講師は統合幕僚長 岩崎茂空将並びに経済評論家・中小企業診断士 三橋 貴明氏 申込み不要、入場は無料。

森田千葉県知事及び熊谷千葉市長を表敬訪問

富田会長は河野副会長及び天草理事役とともに8月27日(火)森田健作千葉県知事及び8月29日(木)熊谷俊人千葉市長を夫々表敬訪問し、県知事には隊友会活動の紹介と今後の連携協力を、千葉市長とは来年2月15日(土)開催予定の関東甲信越ブロック防衛セミナーに関する意見交換及び協力をお願いした。

森田県知事表敬



熊谷千葉市長表敬



各支部の公益活動

**「嗚呼海軍七勇殉難の跡碑」
周辺草刈の奉仕**

隊友会員の皆様、かがおすこしでしょうか。船橋支部（北部地区主体）は平成22年度から恒例となった船橋市大穴北8-33にあります「嗚呼海軍七勇殉難の跡碑」の周辺草刈を今年も6月30日（日）に行なった。参加者は分会別に坪井・松が丘2名、大穴4名、二和・咲が丘3名、高根1名、飯山満・二宮1名の計11名。

参加者の内、佐藤正雄氏は昭和4年8月生まれで昭和19年5月に海軍に入隊、川村福一氏も昭和5年3月生まれで昭和19年6月に海軍に入隊の海軍OB。作業開始前に持参の冷えたビールを石碑の天辺から差し上げ、地下で眠る先輩達は没後から70年振りに喉をうるおされた事と思う。作業は坪井・松が丘分会員の操作する原付草刈り機を先頭に、他の会員は持参した草刈り鎌で午前9時から繁茂した草や竹藪を刈り取り約2時間後の11時に終了、終了後は佐藤正雄氏の先導により「般若心経」を唱え、全員で供養した。

その後慰霊碑を背景に記念撮影し、車座となって幹事が用意してくれた冷えた飲料水や茶菓子を頂きながら、昭和18年春には木更津航空隊から南方の航空基地に進出予定だった七勇が前年の昭和17年11月に木更津航空隊からの訓練飛行中天候が急変し雷電と豪雨の中11月27日午前4時過ぎにこの地に墜落し全員

が死亡された当時を偲んだ。搭乗員の大半が10代後半の若き海軍兵の皆さんはどんな気持ちで戦争に臨んでいたのだろうか？見違えるように綺麗になった戦跡を眺めながら今回の草刈奉仕作業は命日の11月27日（水）と決定し再会を約して解散した。

【船橋支部 木村義忠】



奉仕参加会員



殉難の跡碑 土手下の草刈作業

松戸支部のボランティア活動

松戸支部では平成20年から毎年「隊員の雑作業軽減と駐屯地周辺の美化」を目的として陸上自衛隊松戸駐屯地（共済住宅跡地）の草刈作業支援を実施している。今年は5月19日（日）、7月21日（日）及び9月8日（日）の3回を予定し、既に2回目を実施した。（2回目の7月21日には9名の会員で実施）作業に参加する会員は都合のつく有志で殆どが65歳以上、最高齢78歳と正に老年パワーでありますが自衛隊生活で培った体力と精神力でエンジン付き草刈り機を駆使して作業を実施している。参加した会員も「久しぶりに汗をかいて、爽快な気分になった。」とお互いに達成感を味わい、作業終了後おにぎりなどを食べながら歓談するのが恒例行事となっている。真にさまざまな活動ではありますが自衛隊に対する協力や地域社会に対する貢献の輪が少しずつでも広がっていかればと思っている。

【松戸支部長 山本多喜男】



ボランティア活動参加会員

手賀沼トライアスロン大会支援

手賀沼で約500人が泳ぐ、この光景を誰が予想できたでしょうか。このイベントも今年で8回目を迎えた。手賀大橋付近の手賀沼湖畔で「水泳1500m」「自転車40km」「ランニング10km」を競った。今大会は「よみがえれ手賀沼」のスローガンのもと8月18日（日）に開催された。沼南支部は第1回大会から支援に当たっている。今回も中山支部長（大会副委員長）、満南支部長と河西理事役（大会実行委員）、会員19名のボランティアが参加、早朝4時から選手車両の専用駐車場へ誘導を皮切りにバイク（自転車）コースの警戒に当たった。猛暑の中、全員無事に任務を終え12時30分散会。大会は浜田ほづみ（県議）大会会長の挨拶で始まり森田県知事（代理副知事）、秋山柏市長、星野我孫子市長及び桜田・白須賀両衆議院議員の挨拶で盛り上がった。また、表彰式では中山支部長が入賞者に賞品を渡すプレゼンターを務めた。

【沼南支部 河西伸人】



大会支援参加会員



炎天下、自転車コースの警戒

25年7月・8月入会者

祝入会（敬称略・順不同）

- 【市川】 宮崎 幸三郎（陸）
- 【印西】 高橋 芳彦（空）
- 【山武東金】 岡田 光弘（陸）
- 【木更津】 浅沼 政明（陸）
- 【船橋】 米倉 裕二（陸）
- 【県外】 牟田 清高（海）
- 【野田】 星 孝（海）
- 【鎌ヶ谷】 小野寺 一信（海）

寄付ありがとうございます。古川 昇様（千葉美浜支部）老萬円

相談役の交代

海・空相談役が大異動 祝（着任）

- ◆自衛隊千葉地方協力本部長 前田 大典 1等海佐
- ◆海自教育航空集団司令官 坂田 竜三 海将
- ◆海自第21航空群司令 日向 錦次郎 海将補
- ◆空自第44警戒隊長 山崎 一郎 2等空佐
- ◆空自第1高射隊長 加藤 雄一 2等空佐
- ◆空自第4補給処木更津支処長 長井 竜夫 1等空佐

空自第1補給処は第4補給処木更津支処に改編され、処長の平元和哉空将補は空幕付を経て8月22日付で第1術科学校長に栄転、後任に改編前の第1補給処副処長から長井竜夫1空佐が着任（8月1日付）。長井1空佐は防大31期、筑波大修士、ジュネーブ軍縮会議代表部（スイス）防衛駐在官等を歴任。

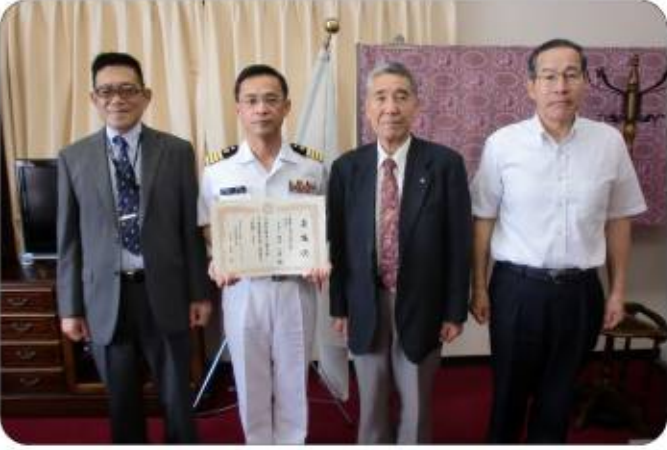
海自教育航空集団司令官小野原正信海将は勲功退職され、後任に横須賀地方総監部幕僚長から坂田竜三海将が着任（8月22日付）。坂田海将は広島県出身で防大24期、海幕防衛課長、第1航空群司令、海自幹部候補生学校長等を歴任。

千葉地方協力本部長 阿部 智1海佐は統合幕僚監部首席後方補給官付後方補給室長（栄転、第2整備補給隊司令から前田 大典1海佐が着任（同））。前田1海佐は防大31期、筑波大博士、技術研究本部、海幕等を歴任。

海自第21航空群司令 中田 芳基海将補は横須賀地方総監部幕僚長（栄転、後任に第22航空群司令から日向 錦次郎海将補が着任（同））。日向海将補は千葉県館山市出身で、リノプターパイロットとして航空隊司令、海幕、教育航空集団司令部幕僚長等を歴任。

空自第1高射隊長兼習志野分屯基地司令 伊藤稔平2空佐の後任に加藤雄一2空佐が着任（7月15日付）。加藤2空佐については、次号で紹介。

富田会長、基地担当理事役、近傍支部長は新着任部隊長等を表敬訪問し、県隊友会相談役就任をお願いした。各部隊長等は、相談役就任を快諾され隊友会への協力を表明された。



千葉地方協力本部長 前田1海佐



海自第21航空群司令 日向海将補



教育航空集団司令官 坂田海将



空自第44戒隊長 山崎2空佐



空自第4補給処木更津支処長 長井1空佐